

## 日本語教育小委員会の審議状況について（経過報告）

## ＜日本語教育小委員会における審議について＞

前期の日本語教育小委員会課題整理に関するワーキンググループでは、平成25年2月に「日本語教育の推進に向けた基本的な考え方と論点の整理について（報告）」（以下「論点整理（報告）」という。）を取りまとめた。今期の日本語教育小委員会では、論点整理（報告）に基づいて、ヒアリングを実施し、問題点の把握、必要な情報やデータ、意見の収集を行っている。

日本語教育小委員会では、現時点で集まっている意見等について、整理を開始したところであり、今後、委員、日本語教育推進会議の参加団体及び地域における日本語教育協議会において各都道府県及び政令指定都市（地域国際化協会含む）から得られた意見等も反映させた上で、それぞれの論点について意見等をまとめる予定である。本分科会ではその経過報告を示す。

なお、次期以降については、今期のまとめを踏まえた上で引き続き、情報やデータの収集、事業等の検討、既存の施策や報告等の改善、新たな個別施策等の検討、地域における日本語教育の在り方などの検討につなげていく予定である。

日程	内容（薄字部分は日本語教育小委員会以外のもの）
5月17日	国語分科会総会①（分科会長、分科会長代理選出、小委員会設置決定） 日本語教育小委員会① 主査・副主査選出、委員紹介、審議の進め方
7月1日	日本語教育小委員会② ヒアリング 一岡山県総社市、可児市国際交流協会（岐阜県）、横浜市国際交流協会
7月10日	日本語教育小委員会③ ヒアリング 一山形市国際交流協会、宮城県国際化協会、多文化共生リソースセンター東海（名古屋市）
7月26日	日本語教育小委員会④ ヒアリングを受けて委員から報告及び意見交換 一加藤委員、金田委員、小山委員
*1 8月30日	地域における日本語教育協議会（関東甲信越ブロック）
*2 9月24日	日本語教育推進会議（※「論点整理（報告）」について意見募集。10月末締切。）
*1 10月11日	地域における日本語教育協議会（北海道・東北ブロック）
10月21日	日本語教育小委員会⑤ 各論点に関する意見の集約、整理について検討
10月28日	国語分科会総会②（小委員会からの報告）
*1 11月1日	地域における日本語教育協議会（近畿・東海ブロック）
*1 11月22日	地域における日本語教育協議会（中国・四国・九州・沖縄ブロック）
12月中～下旬	日本語教育小委員会⑥ 各論点に関する意見の集約、検討課題の優先順位と基本的な方向性等の検討（※今期のまとめの骨子、次期以降の検討課題について検討）
1月中旬	日本語教育小委員会⑦ 検討課題の優先順位と基本的な方向性等の検討（※今期のまとめ（初稿）について検討）
1月下旬	日本語教育小委員会⑧ 検討課題の優先順位と基本的な方向性等の検討（※今期のまとめ（案）について検討）
2月上旬	国語分科会総会③（小委員会からの報告）

\*1...「地域における日本語教育協議会」とは、全国を4ブロック（北海道・東北ブロック、関東甲信越ブロック、近畿・東海ブロック、中国・四国・九州・沖縄ブロック）に分け、各都道府県、政令指定都市の日本語教育担当部署及び地域国際化協会から各地域の外国人の動向や日本語教育の取組状況、課題等について情報交換、意見交換を行うもの（文化庁文化教育部国語課が事務局。平成25年度から実施。）。

\*2...「日本語教育推進会議」とは、日本語教育関係府省、機関・団体により情報交換、意見交換を行うもの（文化庁文化教育部国語課が事務局。平成23年度から実施。）。日本語教育関係機関・団体については独立行政法人国際交流基金や大学共同利用機関法人国立国語研究所、公益社団法人日本語教育学会など28機関・団体が参加。

※ 今期のまとめの構成案については資料3-2、各論点に対する意見等の現段階の状況については資料3-3を参照。